

2018年10月12日

受益者の皆さまへ

三井住友アセットマネジメント株式会社

日興エドモン・ドウ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンドの下落について

(10月12日の基準価額の変動要因についてのお知らせ)

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

2018年10月12日、以下のファンドの基準価額が前営業日比5%以上の下落となりましたので、要因等についてご報告致します。

1. 基準価額が前営業日比5%以上下落したファンドの名称とその状況

| ファンド名 | 基準価額 (円) (2018年10月12日) | 前営業日比 (円) (2018年10月11日比) | 変動率 |
|-------------------------------|---------------------------|-----------------------------|--------|
| 日興エドモン・ドウ・ロスチャイルド・ラグジュアリーファンド | 12,359 | -727 | -5.56% |

2. 基準価額の変動要因等について

10月10日、代表的なラグジュアリー企業「LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン」のCFOが、中国税関当局が中国人旅行者に対する税関審査を厳格化しているとの情報を事実と認めたことを受け、ラグジュアリー企業の株価は重要市場である中国での売上減少懸念から下落傾向が強まりました。ラグジュアリー企業の中でも、鞆やアパレルなどを扱うソフトラグジュアリーの銘柄を中心に下落しました。特に、中国での売上成長が今までの株価をけん引してきた、高級バッグブランドのグッチを運営するケリング、高級アウトドアウェアメーカーで中国での売上が全体の4割程度を占めるモンクレールは、大幅な下落となりました。上記ファンドの基準価額については、以上のことが主な下落要因となりました。

3. 今後の見通し

米中貿易摩擦の激化への懸念、2018年下半期に中国の経済成長が鈍化する懸念から、投資家の間では世界のラグジュアリー売上で大きな割合を占める中国のラグジュアリー消費が減速するとみる向きもありますが、一方で、割高に推移していたラグジュアリー銘柄のバリュエーション（株価評価）が、この数日間の株価の調整を受けて過去の平均的な水準まで低下したことはポジティブと考えています。長期的には、ラグジュアリー企業の収益が

成長していく見通しには変わりなく、足下の市場の反応は過剰だとみており、市場が安定する兆しを見れば、大きく下落した銘柄を中心に買いのチャンスと考えています。

以上

【当資料のご利用にあたっての注意事項】

- この資料は、三井住友アセットマネジメント株式会社が作成したものです。一般社団法人投資信託協会規則に基づき制定した当社社内ルールに従い、受益者の方に「ファンドの基準価額に重大な影響を与えた内容の開示」を行う受益者様用資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 投資信託は、値動きのある証券(外国証券には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 投資信託は、クローズド期間、国内外の休祭日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に市場環境にかかるデータ・分析、運用・分配金実績、運用方針等が示される場合、それらは当資料作成時点のものであり、将来の市場環境・運用成果等を保証するものではありません。分配金は金額が変わる、または分配金が支払われない場合もあり、将来に関し述べられた運用方針も変更されることがあります。